

令和元年度 福祉教育親子参加講座

まこえないってどういうこと？

親子で手話体験！！



～ 報告書 ～

日時：令和元年9月28日（土）午後10時から正午まで

場所：福祉パルたま研修室

参加者：28名 子ども14名 保護者13名 未就学児 1名

子ども内訳：1年生5名、2年生4名、3年生2名、4年生2名、5年生1名

— 次 第 —

1 司会・開会

2 趣旨説明

3 プログラム 手話サークルやまびこ

☆「聴覚障がい」ってどんな障害？

☆どうやってコミュニケーションをとるの？

☆手話をやってみよう！

☆まとめ

4 アナウンス

☆アンケートを記入しながら、親子で考えよう！

5 閉会 高橋委員





プログラム



講師：手話サークル山びこ

★ 聞こえない人はだれ？



手話サークル山びこの4名に手話で話してもらって、誰が聴覚障がい者なのかわからない状態で、聞こえない人は誰かのクイズをしました。



誰が聞こえないのかな…?



Point!!

聴覚障がいは見た目では分かりません

★ 聞こえない人とどうやってコミュニケーションをとるの？

- ✓ 口話（ロパク）→母音が同じだと紛らわしくて、分かりづらい…
- ✓ 空書→自分向きに書くので、相手には少し分かりづらい？
- ✓ 身振り→身体で表しにくいこともたくさんある…
- ✓ 指文字→手話と一緒に目で見る言語！

聴覚障がい者にとって、手の動きや表情で伝えることのできる「手話」は、とても大切なコミュニケーション方法！



★ こんな時はどうする？

聴覚障がいの方が鍵を落としたのに気付いてない様子…
あなたならどうやって伝える？



肩をたたいて鍵を指さす、目の前に飛び出してジェスチャーで伝える、口パクを試みる…

どうやったら伝わるか、皆で工夫して考えました。

伝える方法に正解はありませんが、相手の立場に立って考えることが大切です。



★ 聴覚障がいの人はどうやって生活してるの？

普段の生活でどんな工夫をしているのかな？どんな道具を使っているのかな？

どんなことに困っているのかな…？

聴覚障がいについて、皆で勉強しました。



★ 手話をやってみよう！



低学年（1～3年生）と高学年（4～5年生）に分かれて、手話を教えてもらいました。皆で、手話であいさつや自分の名前の紹介をできるように、練習をしました。



コミュニケーションをとるときに、明るい表情をしてもらえると嬉しいそうです😊



親子で手話体験！

手話は手の向きや表情が違くと、違った意味の手話になってしまったり、上手く伝わらなかったりするので、一つ一つの動きや表情を大切にしています。



皆さん一生懸命に手話の練習をしてくれて、講座が終わった後に手話で話しかけてくださった子もいました。

ご参加いただき、ありがとうございました！

令和元年度 福祉教育親子参加講座 アンケート結果【保護者用】

R1.9.28

1 お子様についてお教えてください。(○を付けてください。)

性別		学年等					
男	女	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
4名	9名	4名	4名	2名	2名	1名	0名

2 このセミナーは、どのようにしてお知りになりましたか。(○を付けてください。)

学校からのチラシ 13名	ホームページ 0名	知人の紹介 0名	区社協だより多摩 0名	その他 0名
-----------------	--------------	-------------	----------------	-----------

3 今回の講座にお申しいただいた理由はなんでしたか。 (○をおつけください。○はいくつでも大丈夫です。)

お子様が興味を持ったから 8名	お子様に手話や福祉について学んでほしかったから 6名	お子様が学校でどんなことを学んでいるのか知りたかったから 0名	自分自身が手話や福祉に興味があったから 6名	その他 0名
--------------------	-------------------------------	------------------------------------	---------------------------	-----------

4 今回の体験を通じて感じたことや考えたこと、学んだことがありましたらご自由にお書きください。

- ・子どもがちょうど最近手話に興味を持っていたところだったので、今回親子で参加できてとてもいい時間を過ごせました。特に、名前を教えてもらった時は、子どもがすごくうれしそうでした。ありがとうございました。
- ・きこえない方が身近にいると子どもにも知ってほしくて、参加しました。何か感じてくれたようです。
- ・手話楽しかったです。表情も豊かなことに驚きました。
- ・人とのコミュニケーションの大切さを改めて感じました。
- ・親子で楽しく学べました。
- ・手話教室は初めての体験でした。小山さんの表情の変化に驚き、20歳で聴こえなくなったとは思えないほどです。聴こえない方がいた時の対応や、「ありがとう」などの手話が学べて、子どもにとっても貴重なことです。参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく、優しく教えていただきました。昔、手話を勉強していたのを思い出せました。ありがとうございました。

- ・ろう学校の話が興味深かった。ゲーム、劇など子供に分かりやすく、とてもよい講座でした。手話ってチャームングだと思いました。
- ・伝える手段は手話だけでなく色々ある、人とのつながりが大事だと思った。手の動きと顔の表情、伝えたいという気持ちが大事。
- ・聞こえないってことが見た目では分からない、ということ学びました。
- ・手話を知るきっかけになって、聞こえない方とのコミュニケーションが分かり、子も親もよかったです。
- ・今日の体験で学んだことを活かせるようにしたいと思います。

5 今後のセミナーで取り上げて欲しい、聞いてみたい、体験したいといった福祉に関するものがあればご自由にお書きください。

- ・手話教室を定期的にやってもらいたいです。
- ・また手話講座があれば、参加したいです。
- ・他の障害についてのきっかけも、親子参加できると嬉しいです。
- ・色々な福祉の体験を親子で、できればと思います。

★参加した子ども達からのメッセージ

- ・とてもせつめいがわかりやすくとてもたのしかったです。べん強になりました。
- ・いろいろのしゅわをおしえてくれてありがとうございました。
- ・私の名字を覚えてくれてよかったです。手話を教わる時が楽しかったです。今日教わった手話を他の友達にも教えたいです。
- ・耳がきこえない人に話しかけられるようになってよかった。
- ・しゅわっていっぱいあるんだなあとおもいました。ゲームがたのしかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・小山さんへ しゅわをおしえてくれてありがとうございました。すごくべんきょうになりました。もっとしゅわをべんきょうしたいです。ありがとう♡
- ・いろいろな手話をしれてよかったです。
- ・小山さんへ しゅわでなまえやたんじょうびなどのしゅわをおしえてくれて、ありがとうございました。